

岩高同窓会報

大浅岳と校歌

同窓会長 原 拓男 (高15回)



一昨年6月の岩高同窓会総会で同窓会長という大役を仰せつかつてから二年が経ちました。同窓会長をお受けして以降今日まで皆様のご期待に沿うような働きが出来ているかと危惧している所です。さてこの2年間、同窓会長として様々な行事や会合に出席して来ま

岩高の今後を考える

学校長 吉岡 道明



去る4月4日の入学式で普通科205名(5クラス)、工業科75名(2クラス)の計280名の入学を許可し、生徒総数845名、教職員総数76名で、岩高の平成25年度がスタートしました。私は今年で4年目を迎えました。この間、「みんな

がそれぞれ自分の頭で、まず生徒の、そして学校及び地域の、『より良く』を考えて行動し、スモールチェンジを積み重ねる学校』を目指して、様々なことに取り組んで参りました。マイク口パスをはじめとするあらゆる場面での同窓会の皆様のご支援に改めて深く感謝申し上げます。

校と統合され、新たに佐久平総合技術高校が平成27年度に開校します。開校を間近に控え、工業科の移転を始め、校歌校章並びに制服等3校の合意形成を図らなければならぬ現実問題が山積していますが、同時に大切なのは、普通科単独校となる岩高のあるべき姿であります。

そこで、今年度は、「普通科課題検討プロジェクトチーム」を校内で発足させます。これは、佐久地域における普通科単独校としての本校の立ち位置を念頭に置きながら、課題の掘出しとその順序付けを行い、出来

るものができるだけ早急に実現していく道筋をチームで検討するというものです。具体的には、文武両道での人間作りと進路実現(国立1クラス5〜8人、都内の難関私立、医療系進学、公務員)を念頭に置き、授業時間(50分、65分、45分、習熟度別授業、特進クラス等)についての検討を行い、さらに「中高一貫校」も視野に入れていきます。中高一貫校は、全国ですでに44校ありますが、長野県では現在4校で、来年度1校が開校されます。内訳は、併設型として屋代高校、長野日本大学高校、佐久長聖

高校、長野清泉女学院高校にそれぞれ中学校が併設され、中等教育学校として、松本秀峰中等教育学校があります。そして来年度は、諏訪清陵高校に中学校が併設されます。

翻って本校を考えてみますと、6年間を通じて、学力の育成を図り、併せて体験活動、クラブ活動を活性化させることで、「感じて、考えて、学んで、動く」生徒を育てることができればそれがまさに建学の精神である「信頼に足る人物」を育てることに繋がります。そして、さらに本校には駅から近く広域から生徒を

集められるという地の利があり、さらに工業科の移転に伴い生じる跡地をそのまま中学校校舎の建設地として利用できるという時の利があります。折しもこれから第II期高校再編の計画策定が始まります。故郷沢同窓会長の持論の実現に向けて動き出す時が来たと感じております。

ところで先日、保護者のための進学講座(普通科)を実施したところ、1回目は104名、2回目は109名、3回目は86名の参加をいただきました。最後の4回目は5月21日に実施予定ですが、保護者の皆様の本

した。入学式、卒業式、同窓会役員会及び総会、東都岩高会総会、学校評議員会、工業科課題研究発表会、佐久新校校長選考委員会、新校に関わる3校の同窓会についての会議、公開授業参観、同窓生作品展(岩高祭)と同時に開催、教職員歓迎会、野沢南高創立100周年記念式典などですが役員の皆様の協力を得て何とか役目を果たせて来たのかなとも思っています。そんな中、昨年10月29日に母校体育館にて東都岩高会寄贈の

「学生歌、大浅岳」額の掲額及び寄贈式が東都岩高会の清水光男会長、秋山桂一副会長、中村浩子元会長、生駒友臣前会長はじめ東都の大勢の役員の皆様、本会からは油井孝一郎元会長ほか出澤龍一、佐々木正行、木曾茂、甘利治子、依田美恵子、中沢朝幸、柳澤眞平の7人の副会長、そして「大浅岳」を揮毫して戴いた小山雲崖(駿二)先生(高12回)ご出席のもと行なわれました。「大浅岳」の歌詞額は東都岩高会の皆様が母校創立90周年の記念として五年間かけ計画立案し寄付金と呼びかけ実現したものですが大変素晴らしい出来

栄えてステージの反対側に掲揚されていた校歌の額が貧弱に見えてしまいました。そこで校歌の額は本校国語科の赤羽道人(鐘道孫)先生に揮毫して戴き今年3月の卒業式には左右に校歌と学生歌の2つの素晴らしい額が掲揚され同窓会として大変誇らしい物となりました。このように素晴らしい学生歌額を寄贈戴いた東都岩高会の清水会長を始め会員の皆様に厚く御礼申し上げます。と共に母校を思う熱い気持ちに敬意を表します。

ので現在の校歌は1964年(昭和39年)に出来たもので作詞、尾崎喜八、作曲、高木東六によるものですが、私が入学した1960年(昭和35年)には勿論この校歌は無く「大浅岳」が諸々の折に歌われており私は「大浅岳」が校歌だと思っ

たので刻字した倉澤隆氏(高21回)に依頼し2ヶ月かけて修理して戴きこれもこの黒板を有効に利

用し岩高生の学力の向上に大いに役立てて欲しいと願っています。また嬉しいトピックスとして皆様既にご存知の通り寺島義幸氏(高24回)が先の総選挙で見事衆議院議員に小選挙区で当選しましたが岩高同窓生初の衆議院議員として今後の活躍を期待する所です。また4月に行なわれた佐久地域の地方選挙では8名の同窓生の皆様があたたく当選しました。地域発展の為に同じく活躍を期待したいと思います。

立派に蘇りました。なお揮毫は私と同期(高15回)の虎井暁鐘(正雄)先生です。母校は今年も新1年280名の同窓生を迎えましたが普通科が4クラスから5クラスに工業科が3クラスから2クラスになりこの工業科の生徒が3年生になる時に新校(佐久平総合技術高等学校)に移る事になります。新校については岩高の吉岡道明校長が委員長で今までも合併する3校の先生方や同窓会長などが色々協議を重ねて来ましたが今後難しい問題が山積しています。他に最近の母校のニュースとしては同窓会の立志塾で電子黒板を購入しました。まだ県内で導入している学校はないようで、この電子黒板への先生方の関心は大変大きく他校の先生からも注目され羨ましがられていくようです。

校に寄せる期待の大きさを強く感じています。また、今年度はさらに同窓会に支援していただいた電子黒板を活用した魅力ある授業を研究実践する予定であります。これは県下の高校で初の試みであり、この授業で本校生徒の長所をより一層引き出すことができると期待しております。今後とも、本校のために教職員一同、誠心誠意、努力を重ねる所存でありますので、引き続きご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

関東支部 清水 光男 ☎03-3921-7939

岩村田高等学校 同窓会
原 拓男
中 沢 朝 幸
佐久市岩村田1248-1
岩村田高等学校内
TEL 0267-67-2439(代)



新年祝賀会 吹奏楽班の演奏

関東支部東都岩高会総会

- 日時 平成25年6月23日(日) 受付開始11時、11時30分開会
- 場所 ライオン銀座7丁目店 6Fクラシックホール (中央区銀座7-9-20 ☎03-3573-5355)

全国にお住まいの同窓生の皆さま、この機会にちょっと覗いてみては如何でしょうか! 関東支部一同お待ちしております。

平成25年度卒業の皆様と関東地区の学生皆様を、東都岩高会では上記総会へ参加費無料でご招待申し上げますので奮ってご参加下さい。申し込みに関しては岩高同窓会のHPをご覧ください。

関東支部 清水 光男 ☎03-3921-7939

事務局から会員の皆様へ重要連絡

来年の平成26年(2014年)6月に90周年記念事業の一環として同窓会名簿を刊行することになりました。前回から7年経過していること、また100周年にむけ組織の再構築をめざす意味で改訂版発行の必要性が出てまいりました。

振り込め詐欺の情報源として同窓会名簿が利用されているとの報道がありますが、前回(2007年)と同様今回も個人情報保護法に則り住所、電話番号、勤務先など会員個々が御自身の判断で選択、記載できることになっております。振り込め詐欺の被害にあわれる方はお子さんから親元への詐欺電話によるものが多く、したがって会員本人の現住所が主に記載されている同窓会名簿よりは保護者の住所が記載されている過去に毎年発行配布された「PTA名簿」、三年次に発行配布の「卒業生名簿」を利用したものと考えられます。両名簿共に約10年前より廃止されておりますがそれ以前に配布を受けた現在30歳以上の卒業生をお子さんにお持ちの会員の皆さん方は特に注意して下さい。

平成25年秋頃から会員へ「調査のためのはがき」が「岩村田高校同窓会の依頼を受けた株式会社サルト」より送付されます。他の業者(職業別名簿発行会社など)と区別されて、トラブルの無いよう2014年版岩村田高校同窓会名簿作成にご協力いただきたいと思います。またインターネットで「岩村田高校同窓会」と入力していただきますと最新の同窓の動きが閲覧できますのでご利用下さい。

定期総会 講演会 懇親会のご案内

平成25年度の定期総会を下記のとおり開催します。同窓生多数、特に若い皆様のご参加をお待ちします。

- 日時 6月29日(土) 午後1時30分受付
- 場所 岩高会館
- オープニングセレモニー 母校吹奏楽班
- 演題 「まんが日本昔ばなしと風墨画」
- 講師 元「まんが日本昔ばなし」チーフディレクター・風墨画作家 小林 三男氏 (高16回)

聴講無料。ご家族、近所の方を誘っておいで下さい。

懇親会—総会終了後、佐久ホテルにて。(☎0267-67-2120) 会費—5,000円

卒業生シリーズ⑪

在校生に贈る『いろは考』

神津 武士 (旧中16回)



「いろは」と言うものは先人達の智慧の結晶である。古くからの生活経験が凝縮されているものだと思う、若い人達には「古くさい」、「お説教くさい」というイメージが付きまとうでしょう。ここでは在校生への一服の清涼剤のつもりで筆を執った。

まず『い』の字である。「石に漱ぎ流れに枕する」こんな諺を思い出し、

ただひたむきに

2013年カーリング男子日本代表スキップ 両角 友 佑 (高55回)



私が岩村田高校を卒業し早くも10年と云う歳月が流れました。今でも、当時の事を昨日の事のように思い

出ることができません。とはいえ、当時私が10歳年上の方を「おじさん」と思っていたように、在学中の皆さんから見れば私も「おじさん」になっているということ。年月の流

切にする事のたとえであり、半面風流風趣のわからないことのとえでもある。つまり価値観のちがいを表しているようだ。同義語では「花の下より鼻の下」という言葉もある。

「花は一時人は一盛り」花は美しく咲きほころぶのもたつた数日間であるが人間も華かな時間時期はごく短いものである。



1学年の生徒対象「先輩おおいに語る」の会

大事業は一朝一夕で出来るものではなく、長い年月と大きな努力と強い意志があつてこそ成し遂げられるものだ。という事である。然し同じ『ろ』の字でも「労多くして功少し」という反対的な諺もある。

「老馬の智」とは中国の桓公という人が道に迷った時、馬の手綱を外してすぎ勝手にさせたところ、その後について行ったら無事に帰宅する事が出来たという故事である。その外「論語読みの論語知らず」「論より証拠」「60の手習い」俺は今87歳の手習いである。

桜はぱつと咲いてぱつと散る、そのように武士というものはいさぎよく死ぬる覚悟がなくてはならないと教えているのである。

同窓会と母校の発展を願って

東都岩高会会長 清水 光男 (高8回)



同窓会の皆様初めまして。私は昭和31年卒業の清水光男と申します。平成24年度東都岩高会総会で会長という役を仰せつかり、生駒友臣会長の後を担うこととなりました。他に錚々たる有能な皆様が数多おられる中で、私で良いのかと悩みましたが、東都岩高会が岩高同窓会の一員として成さねばならない事として、母校の更なる躍進に少しでもお役に立つことが出来たらとお引き受けさせて頂きました。現在岩高の同窓生は23000有余人、東都岩高会1都6県(東京、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、神奈川)の同窓生は判っておるだけで20000有余人で全体の8・7%です。その中で東都岩高会に、ご協

第43回同窓生作品展出品のお願い

事業部長 木曾 茂

昨年度より同窓生作品展は全部門を母校岩高祭に合わせ開催することになりました。在校の後輩達との交流ができ、また期間中多くの来客が見込まれることなどがその理由です。今年度は7月6・7日の土日に開催されます。全部門を毎年展示するためお一人1点の展示とさせていただきます。出品一覧表作成準備の都合上、下記の事項をお書きになり、6月30日(日)までに岩村田高校同窓会事務局へFAXでお送りください。

第43回同窓生作品展(全部門)記載事項

岩村田高校同窓会事務局御中

(FAX番号・0267-66-1450)

- 1、氏名・卒業年と卒業回 (例) 岩高 太郎 (昭和48年卒、高25回)
2、住所・電話番号
3、作品種類 (絵画・彫刻・書・水墨画・写真他)
4、作品名
5、サイズ 縦 cm, 横 cm
6、懇親会参加の有無

◎裏面にお名前、題名を貼り、紐などをつけ展示パネルにすぐ飾れるようご準備下さい。

今後の日程

- 1、作品搬入日時と場所：7月5日(金) 15:00~17:00 岩村田高校2階3-A教室
2、作品搬出・片付け：7月7日(日) 16:00~16:30
3、懇親会・片付け終了後 17:00~「こんどう岩村田店」

☎0267-68-7300 岩高北

同窓会ニュース

岩高同窓生「慶事・表彰」一覧
ご慶事誠におめでとございます。
心よりお祝い申し上げます。
(事務局にお知らせのあった方)

- 衆議院議員当選 (24年12月) 寺島 義 幸氏 (高24回)
瑞宝小綬章受章 (25年4月) 小林 松 夫氏 (中14回)
旭日双光章受章 (25年4月) 出 沢 潔氏 (高7回)
旭日双光章受章 (24年11月) 安 部 和 重氏 (高9回)
佐久市議会議員当選 (25年4月) 中 條 寿 一氏 (高14回)
佐久市議会議員当選 (25年4月) 柳 沢 潔氏 (高19回)
佐久市議会議員当選 (25年4月) 三 石 義 文氏 (高25回)
佐久穂町議会議員当選 (25年4月) 岡 部 勝 一氏 (高26回)
佐久市議会議員当選 (25年4月) 内 藤 勝 利氏 (高32回)
佐久市議会議員当選 (25年4月) 吉 川 友 子氏 (高42回)
佐久市議会議員当選 (25年4月) 小 林 貴 幸氏 (高44回)
佐久市議会議員当選 (25年4月) 小 山 仁氏 (高46回)

感謝の二文字

衆議院議員 寺島 義幸 (高24回)



同窓生の皆様には、ご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

私は、昭和47年の卒業生です。忘れることのできない浅間山荘事件が発生した年でした。当時は学生運動の渦の中で翻弄されている時代でした。大学を卒業して東京でサラリーマンを9年経験した後、昭和62年に上田市で、衆議院議員羽田孜先生の下

とは、忘れられない経験でありました。

そして、昨年の暮れ、43年間長野を地元としてご努力を戴いてきた羽田孜先生の後継者として、羽田先生

の支援をいただき、民主党長野3区より衆議院選挙に立候補いたしました。24日間の短い期間ではありましたが、多くの皆様のご支援をいただき、当選することができました。翌日、民主党の新人での当選者は私一人だけだと聞き、大変驚きました。

立科町の平凡な農家の長男に生まれたにもかかわらず、今日の私がありますのは、本当に多くの先輩や友人の皆様のご指導とご支援の賜ものであり、正に「感謝の二文字」であります。

謝の二文字」であります。そして、一番感受性の強い

高校時代に素晴らしい「友に出会うことができたこと」は、私の何よりの宝であり感謝であります。多くの先輩や地域に育てていただき、今日まで歩み続けることができました。本当にありがとうございます。

数年前に他界した父は、「教育は盗まれない財産だ」といって、先祖代々の農地を売って私を大学に出してくれました。社会人になつたら、いつか学費や生活費に消えたあの土地ぐら

いは、どこかに買つて先祖にお返しできるような男になりたいと思つていました。しかし、今はそれも不可能になりました。その代わり、今日まで私

を育てていただいた多くの皆様や地域に、ご恩返しをし続けていければ、きっと我が先祖も許してくれると思つています。

私は羽田孜先生の「改革の情熱と志」をしつかりと受け継ぎ、地域の発展のために身を尽くし、心を尽くして働いてまいります。

「二人ひとりの生活をもつと元気にしたい、日本をもつと元気にしたい」そんな思いを国政につなげて参

念申し上げます。



4月12日、衆議院本会議初登壇

思い出他

元東京都岩高会会長 本間 道夫 (高4回)



昭和21年岩中入学、併設中学終了後、同27年高校を卒業し6年間お世話になりました。入学当初校庭には戦争末期に計画された学校

工場建設用機材が赤錆びて山積み放置され図画教室前の中庭は麦畑で麦秋を待つてテニスコートに、校内の空地は食糧増産の為畑地となつて居り何れも徐々に花壇と化しました。校庭整備も進み、秋季運動会は盛大でした。他には大相撲やプロ野球興行もあり力士の迫力と野球選手の軽快な動きに目を見張り魅了されました。

まりました。永年疎遠に過ぎて居た不肖な卒業生も、還暦を控え殊勝な心掛けを持ってようになり爾来20年余を続けて参加させて頂いて居ります。就中会長在任中に皆様から頂いた数々のご恩は生涯忘れること無く厚く御礼申し上げます。

始祖東京都岩中会は昭和5年創設と伺いました。当時の会則第八条に「本会八會員相互ノ徳識向上ト其ノ親睦ヲ計リ後輩上京者諸君ノ便ト誘導ヲ以テ目的トス」とあり初代幹事長武藤武夫氏の校友会報寄稿の創立主旨の項には「親睦を以て本会を團結せしめ、親睦は本会の血脈である(岩高60周年誌より)」と記されています。社会情勢が異つた今も参考になる事柄と思つて、本会・東京都共毎年充実した企画で総会を開催しています。齷齪した日常を離れて総会に出席して頂き度

大浅岳を揮毫して

小山 駿 二 (高12回)

昨年7月、岩高祭にお伺いした折、あの懐かしい「大浅岳」のメロディが同窓作品展の会場に流れていま

した。身体の芯からジーンときて、思わず大きな声で歌つてしまいました。教室内でしたので尚更のこと、学生に戻った感覚を覚えました。

この大浅岳、歌われなくなつてから久しいとのことでしたが、譜面起しからご指導いただいた宮下先生や生徒会、そして吹奏楽班の皆様、そして吹奏楽班の皆様、そして吹奏楽班の皆様を申し上げる次第です。さて、この「大浅岳」の揮毫を昨年来、東京都岩高会生駒会長はじめ役員の方々

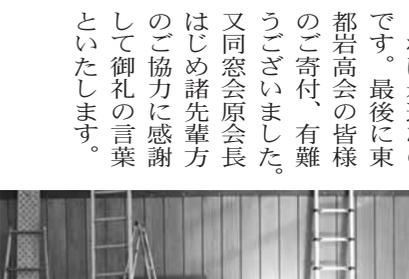
様からご指名をいただきまして、これは不祥小山としては、身にあまる光栄であり、身の引締まる思いで、心したことは言うまでもありません。まず、この詩の意味をかみしめながら書くと思ひました。素直な気持ちで、細部にこだわらず、ハツラツさを前面に出し、そして、一番大事なことは自分らしく堂々と書きたい、ただそれだけでいい。結果拙作かもしれませんが、ほ

ぼ思いが表現出来、良かったと思つて居ります。心こめて書いたことにお許し下さい。私の書歴は中学生から始まり、中断はありましたが約40年程やってまいりました。今ここに伝統ある母校の講堂に、毎年掲額された自分の書を見るにつけ、永く掲げられることは、これにまさる名譽はございません。現役の生徒の皆さんこの素晴らしい詩、この学生

歌を校歌と共に、永く歌い継いで下さい。社会に出て、その時にわかるのかもしれないが、この詩には不思議な力があるように思えてなりません。苦しい時これを歌えばきっと力が出来ます。血がたぎります。又故郷を思い起します。勇気が出ます。生徒さん達と我々OBとの橋渡しをしてくれるこの「大浅岳」これは永遠なのです。最後に東京都岩高会の皆様のご寄付、有難うございました。又同窓会原会長はじめ諸先輩方のご協力に感謝して御礼の言葉といたします。

かんごさん

作 田中しょう (高25回)



一二美会便り

関口 悦子 森泉 竹子 (若女34回)

平成24年4月24日、布引温泉もろになつかしいクラスメートが集りました。不順な天候で遅れていた桜花が一斉に咲き、お花見を兼ねた同級会となりました。はじめに故人となられた恩師、同級生のご冥福をお祈りして黙祷。

思いやりの心を頂いて「私たちは生きていられるんだ」と強く感じました。長い人生、幾多の苦難を乗り越えてきたお一人おひとりのお話は本当に身に沁みました。これからの人生、静かに楽しく無理をしないで生きていきたいと思います。佐藤いくさんの提案で武田信繁の首塚も見学しました。皆さん足が思うように動いたら、満開の桜の庭を歩いたり、懐古園の桜を見に行ったりと思われた事でしょう。残念であつたと思ひます。来年の一二美会はどうしますか？とお聞き

山浦由美子さんの乾杯！で始まりました。武井光子さんの弟さんが鎌倉から駆けつけ、武井さんを車でホテルへ送つて下さり、皆さんと合流することが出来ました。周囲の方々の温かい



あなたと岩高



生徒会長 田口 央基

今年度の生徒会スローガンは「あなたと岩高つなぐ身近な生徒会」です。生徒会は、その名にも関わらず「何をやっているのかよくわからない」という声を時々耳にします。だからこそ、歴代の生徒会執行部も情宣推進を目標に掲げ活動をして来たのだと思います。今年度生徒会は、今までの「こちらから情報を発信する」推進活動に加え「全校の皆さんからも情報・意見を頂ける」活動を多く取り入れたいと思います。情報はお互いにやり取りをするコミュニケーションから成り立っています。生徒会活動も普通の会話と同じように皆さん一人ひとりの言葉を受け取って返す、という相互発信を積極的に行っていきます。と思います。

私たちに出来ること



生徒会副会長 上妻 大輔

本校生徒会ではボランティア活動へも大いに取り組んでいます。東日本大震災が発生してもう丸2年が経とうとしています。校内や街頭、文化祭を通じて募金活動を展開し、その集まったお金と文化祭の売上金を義援金として日本赤十字社を通じて被災地に送りました。震災の記憶を風化させないためにも私たちに出来ることを一生懸命にやっています。また震災のことでなく地域社会にも目を向け、ごみ拾い活動などを行い、岩村田高校と地域のネットワークを深めていきたいです。岩村田高校生として自覚を持ち、生徒会副会長の名に恥じぬよう頑張っていきます。

一日のスタートは挨拶から



生徒会副会長 森 泉

自分是一日の中でスタートを切る瞬間は2回あると思います。まず初めに朝起きてから家族に「おはよう」と挨拶する瞬間、そしてもう一つは登校してから先生や友人に「おはようございます」、「おはよう」と挨拶する瞬間、もしその2つの瞬間がなくなってしまうたらどうでしょうか、いつになっても布団から出ることができず、だらだらしてしまったり、登校してもどこからその日の学校生活が始まったのか曖昧になってしまうと思います。お互い目を合わせて笑顔で交す挨拶は不思議とやる気や元気を貰え、更にいくらか挨拶しても自分のやる気や元気が減ることはありません！こんな儲け話が身近に転がっていることにみなさんご存知でしたでしょうか？

第4回 佐藤寅太郎賞

同窓会会則4条16「文武両道を実践し、模範となった生徒に対して卒業時に初代校長を記念し、佐藤寅太郎賞を授与する。」

第50回 岩高祭

7月6日(土) 7日(日)

50回とらう記念の年に



岩高祭実行委員長 柳澤 大希

今年度の岩高祭は第50回という記念の年となりました。テーマは『刻々一瞬の現在を掴め』です。このテーマは全校からの

募集により決まりました。50回という大きな区切りの岩高祭で、正直大変プレッシャーを感じていますが、岩高生としての最後の岩高祭を悔いなく、そして文化祭に参加した全校生徒から楽しかった、忘れられないそんな言葉を言ってもらえる岩高祭を目指し頑張ります。

鷹野みくさん：英語班の班長として班員をまとめ、レシテーションコンテストでは県大会2位。生徒会活動では清美委員長としてゴミステーションに毎日立ち指導した。新入生への校歌・学生歌練習指導、行事の際の指揮者も務め全校生徒の心を一つにした。ポラントニアとして高野連の裏方(アナウンサー、接待、券売)を3年間継続した。クラシックバレエのレッスンも3年秋まで続け、ステージ発表を幾度となく行った。学業も優秀で2年次には英検2級を取得した。外国語学部英文科へ進学予定。関 穂奈美さん：囲碁・将棋班に所属し2年次、3年次に長野県高等学校選権大会個人戦で優勝2連覇を達成した。3年間で全国大会に7回出場し、最高成績



写真左から鷹野さん、関さん

事務局からの風景

▽センター試験の英語から物語文が消えて久しい。以前は長文3題のうち1題は登場人物の心情を追う設問が出題されていた。実用的で使える英語力への要請の中、教科書のレッスンからもこの「乾いた」論説文が主流になった。▽国語科と英語科は同じ研究室なのでこのことを話題にする。「文学作品は多様な解釈がありうるのでマークシートの出題には不向きなのではないかな」とのことだ。南木佳士氏が自分の作品が入試問題で取り上げられ、解いてみたところ不正解だったと書いていた。▽現実世界は正解のない事象に満ちている。与えられた選択肢でなくその場その場で内面から生起する手持ちの選択肢から答えを出す。登場人物についてあれこれ解釈しながら読み進む文学との対峙と似ている。だからこそ物語、文学はいつそう若い時代には必要なのではないか。入試問題は必ず正解があるので楽なものだ、と放言すると生徒達は苦笑する。▽2015年には工業科は佐久平総合技術校に移転し岩村田高校は「普通科進学校としての立ち位置」が問われる。これまで以上に大学入試に対応したカリキュラム、進学体制を充実発展させることが求められている。▽難関大学の二次個別試験はこの世界の事象に対する広範な興味関心、そこで得た知識、感性をベースにした本格的な学力が問われる。強い心体を形成するバランスのよい日々の食事のように多元的な教育活動(課題、読書、部活、清掃、生徒会活動の奨励)を大切にしたい。資格、検定、入学、就職は3年間の短期目標であり目指すはキャリアの教育である。キャリアとは「生涯を賭けてエネルギーを投入するに値する職(社会活動)」が原義である。3年後のハイドルを越えることに精進しながらもその向こうに広がる刻々と移り変わる広大な風景を眺望しながら進みたい。(柳澤真)

みずぶ文芸

- 俳壇 清水 光明(高4回)
歌壇 市村 雅(高5回)
柳壇 山崎 英夫(旧中21回)
柳澤 秀一(高9回)

平成24年度岩村田高等学校同窓会一般会計決算書

収入総額 6,214,176円 支出総額 5,986,821円 差引残額 227,355円
自平成24年4月1日～至平成25年3月31日 岩村田高等学校同窓会長 原 拓男

平成25年度岩村田高等学校同窓会一般会計予算書(案)

収入総額 5,531,500円 支出総額 5,531,500円 差引残額 0円
自平成25年4月1日～至平成26年3月31日 岩村田高等学校同窓会長 原 拓男

Table with 5 columns: Item, Budget, Actual, Change, Summary. Includes income and expense sections.

Table with 5 columns: Item, Budget, Previous Budget, Previous Comparison, Summary. Includes income and expense sections.

※尚、予算に過不足が生じた場合、正副会長相談の上、一任させていただきます。

運動班の成績

(総合体育大会及び新人体育大会の最上位成績)
本校の掲げる「文武両道」のもと各運動班が、朝・夕・休日と日々努力した練習の成果をご覧ください。
今後とも応援宜しくお願い申し上げます。

運動部長 高橋 善博

Table of sports results including categories like サッカー, バスケット, バレー, 柔道, 剣道, 空手道, 弓道, ソフトテニス, テニス, バドミントン, 卓球, 陸上, 水泳, スケート, 山岳, 野球. Includes photos of students and team photos.

文化班 活動状況

ここには載せきれませんが、今年度も文化班は多方面で活躍しました。今後とも同窓会の皆様のご支援をお願いいたします。
文化部長 甲田 泰広

Table of cultural activities including categories like 班・同好会名, 吹奏楽, 美術, 英語, 演劇, 総合工学, 囲碁・将棋. Lists activities, dates, and participants.

事務局と同窓職員

- 事務局長 柳澤 眞平
事務局(渉外) 内堀 俊彦
事務局(会計) 藤城 巨陽
庶務 小松 緑之

- 同窓職員
行政嘱託員 櫻井昇一郎
英語 柳澤 眞平
美術 日向 眞平
理科 北原 孝育
事務科 徳田 敏昭

